

## 第 73 回番組審議委員会議事録

1. 開催年月日      令和 7 年 5 月 7 日(水)午前 10 : 30～11 : 30
2. 開催場所      和歌山県田辺市宝来町 8-21   泉ビル 2 階
3. 委員の出席      委員総数 : 6 名  
  
出席委員 : 5 名  
  
出席委員の氏名 : 野村悠一郎、小倉拓、橘智史、  
  
安達克典、辻強志、猪野竜太  
  
欠席委員の氏名 : なし  
  
放送事業者側出席者氏名 : 洞周作、生田奈穂、  
  
濱田由希子、安田豊、  
  
安田正  
  
欠席者氏名 : 大崎健志

議題   1) 局側挨拶 (現状報告)

2) 議題

☐番組聴取

4 月 10 日 (木) 7 : 00～9 : 54 に放送した「グッドモーニングたな

べ」内で取り上げた大阪・関西万博 2025 メディアデー取材レポート

をご聴取、ご意見・ご感想 3) その他番組への質問・意見

4) 今後の放送に対する意見・要望

5) その他

## 局側挨拶・報告

### 1. 局側挨拶

洞：連休明けのお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

2月23日には『南紀田辺 UME ロードマラソン』が開催され、現地から実況中継を行いました。芸人の猫ひろしさんにもご出演いただき、大いに盛り上がる中継となりました。その後、『熊野三山奉納公演 能舞』にも関わらせていただき、ラジオでの PR や特別番組の放送に加えて、新たに動画撮影のお仕事もいただきました。シオゴリモニュメント除幕式についても、取材対応させていただきました。話題の『大阪・関西万博』に関するメディアデーに招待され、大崎・濱田・生田の3名が現地で取材を行いました。選挙特番では、午後9時から深夜12時過ぎまで、開票速報を生放送でお届けしました。当選された方々とも中継を結び、コメントをいただくなど臨場感のある放送となりました。そして直近の取り組みとして、4月30日に FM

TANABE と住宅用換気部材メーカー ハウゼコとのコラボレーションにより、ラジオと連動した YouTube チャンネルを開設いたしました。公開された動画も多くの方にご視聴いただき、チャンネル登録者数も順調に伸びています。このように、前回の番組審議委員会以降もさまざまな活動に取り組んでおります。引き続き、どうぞよろしくお願いたします。。

## 2. 議題

～番組聴取～

野村：まだ万博のイメージがあまり湧いていないんですが、思った以上にすごい人出ですね。取材に行ってくれた皆さんには本当に感謝しています。ところで、宮本李菜さんとはどんな方ですか？

生田：田辺市出身の方で、大学は京都に進学されています。在学中に大学のミスコンに出場され、タレント的な活動を始められました。その後、JA 紀南（現・JA わかやま 紀南地域本部）の PR 大使に任命され、東京の物産展などで和歌山の特産物の PR を行っています。今回、万博メディアデーには“福娘”として登場されていたことは、私達も現地に行って初めて知りました。

橘：ちょっと内容が分かりづらかったですね。僕は4月28日に新庄漁協の関係で万博デビューしました。その日は寒かった上に雨も降っていたのも相まって、現地で見たものと放送での説明が一致しなくて混乱してしまって、正直よく分からなかったというのが感想です。音声のみのメディアの難しさを感じました。

小倉：私は全然万博についての知識がなかったんですが、小山薫堂さんが梅干しの話を全国放送の『SUNDAY'S POST』でしていたのを聞いて、すごいなと思いました。小山さんは熊野古道や田辺にも訪れていて、全国的に有名な方が紀州のPRをしてくれているのは嬉しいです。小山さんの肩書や経歴の説明があるとなおよかったと思います。

安達：今回の万博も一つのイベントだと思うんですが、これをきっかけに、年間を通じた田辺市内のお祭りをまとめて、FM TANABEで“お祭りカレンダー”的に特集する番組を作っても面白いんじゃないかなと思いました。

辻：うちの生徒も修学旅行で万博に行きました。前日までは雨でしたが、当日は曇りで過ごしやすかったようです。でも、帰ってきた生徒はしっかり日焼けしていました（笑）。万博ではキャッシュレス決済

のみで、現金が使えません。生徒たちにも事前に“スマホにチャージしておいて”と伝えていました。こういった注意点も、これから行く人のためにラジオで発信してあげると参考になるかもしれません。

生田：“万博の楽しみ方講座”のような企画ですね。たとえば“キャッシュレス対応が必要”“かなり歩く”とか、“夏場は首元を冷やすグッズが必須”など、事前に知っておくと快適に楽しめる情報は多いですね。

猪野：僕はまだ万博に行けていないんですが、放送を聞いていて少しずつイメージが湧いてきました。個人的には、6月に家族の“還暦祝い”で万博に行こうかという話も出ていて、いろいろ計画を立てているところです。今日の皆さんのお話を聞いて、10月まで開催されているなら、その頃に行った方が準備もしやすく、スムーズに楽しめそうだと感じました。

### 3.その他番組への質問・意見

特になし

### 4.今後の放送に対する意見・要望

猪野：僕は職業柄、朝夕の決まった時間帯しかラジオが聴けなくて、

朝は占いくらいしか聴けていないんです。でも個人的には、万博のようなタイムリーな情報を流してもらえると、すごく行きたくなります。これまでも学校関連の話題などを取り上げてくださっていますし、引き続き地域に密着した情報を発信していただけるとありがたいです。

小倉：リスナーによって聴く時間帯が違うので、時間帯ごとにターゲットを分けて、それぞれに合ったコーナーで“万博を楽しむコツ”みたいな情報を発信しても面白いと思います。たとえばリクエスト曲を募集するついでに「今、万博でこんな裏技が使えるよ」とか「こんな体験したよ」みたいな声も募集して、それをまとめて番組や Web サイトで共有していく。箇条書きでもいいので、事前に“これを見てから行こう”と思えるようなコンテンツがあれば、需要はあると思います。

安達：各地域のお祭りって、意外と地元でも知らないことが多いんですよ。僕らの地域では、5月5日に“B-29 慰霊祭”があり、過去最高の来場者数でした。FM TANABE でも取材をしていただきました。その後は東京に行く娘を松阪まで送る予定だったんですが、渋滞に掛かっていっそ名古屋まで行こうとなりました。この日は各地で祭

りがすごかったんですよ。偶然出くわした祭りでしたが迫力があって独自性が高くて感動した。そういう地域のお祭りを年間カレンダー化して取材してもらえたら、すごく面白い企画になると思います。

橘：今年は戦後 80 年です。個人的な意見ですが、平和について考える機会として、遺族会の活動を紹介するような特集も今の時代に必要なんじゃないかと思います。遺族会の多くは高齢化していて、今では僕ら孫世代が“語り部”として話を引き継いでいくべき立場です。でも、今の子どもたちは戦争のことをほとんど知らないんです。教科書にもほんの少ししか書かれていません。日本遺族会としても、国から予算を得て“子どもたちへの語り継ぎ”を義務づけられていて、その内容をメディアにも取り上げてもらうようになっています。教育的な意味でも、ぜひ取り上げてほしいです。

野村：戦没者慰霊祭ですが、私たちも本腰を入れて取り組んでいます。現在は遺族の数が減ってきていますが、私の地域ではありがたいことに子どもさんやお孫さんが来てくれています。そういった方々の想い、戦没者の想いに応えるためにも、きちんと気持ちを込めて式典を運営していきたいと考えています。私たち自身も、責任を持ってしっかりと取り組まなければならないと思っています。

濱田：皆さん、ご意見ありがとうございました。今後の番組制作に活かしていきます。

5.審議機関の答申または改善意見に対して採った措置及びその年月日

特になし

6.審議機関の答申または意見の概要の公表方法

内容：審議内容について公表

方法：ホームページ掲載 (<http://www.fm885.jp/>)

7.その他参考事項

特になし